

# フリースマイル NEXT

支援理念：ひとりひとりが自立した社会人になる。

本人だけではなく、家族もともに笑顔になる支援を心掛ける。



## 衣服の着脱、食事、排泄などの 身辺自立能力 自分のことは自分でやろう

自分ひとりで出来ないことは、  
スタッフが手伝います

健康  
生活



## 道具の扱いなどの 作業遂行に関する能力

遊び道具だけではなく、生活に必要な  
道具をたくさん体験して使えるように  
練習する

運動  
感覚



認知  
行動



## 自分の行きたい所へ移動するための能力

高学年と低学年では、実施できる  
自立移動範囲には差があります。  
安全面には十分考慮しつつ、  
移動範囲を広げて行きます。



## 発達支援の5つの領域

発達支援は、子どもが将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるように  
するために行うものであり、具体的な本人支援は障害のある子どもの  
発達の側面から、左記の5つの領域になります。

送迎有

## 言葉や文字によるコミュニケーション能力

コミュニケーション能力には大きな差がありますが、大切なことは、  
言葉の上手さではありません。正しいことを正しく相手に伝えること。  
上手く言葉が話せなくても、ありがとう、ごめんなさいを  
正しく伝えることです。

言語・  
コミュニ  
ケーション



人間関係  
社会性

## 家族以外の人の中で、 協調性を持って過ごすこと

- ひとりで遊ぶ
- スタッフとふたりで遊ぶ
- 複数の人の中で遊ぶ

## 体験・経験 主な行事等

- 1月【初詣 お買い物体験】
- 2月【バレンタインチョコレート作り 恵方巻作り】
- 3月【ホワイトデークッキー作り 卒業進級お祝い】
- 4月【お花見 パフェ作り】
- 5月【母の日プレゼント制作 サンドイッチ作り】
- 6月【収穫体験 お弁当作り】
- 7月【魚釣り 川遊び】
- 8月【BBQ 鹿児島地区合同イベント】
- 9月【敬老の日プレゼント制作 月見団子作り】
- 10月【ライフル射撃体験 サイクリング】
- 11月【スケッチ大会 スイートポテト作り】
- 12月【クリスマス会 大掃除】

## 【支援方針】

### 褒めることを忘れない

SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）は良く耳にすることはですが、  
わたしたちは子どもたちに対して常に SST を基本として接します。

- 1 正しい行動を見せる
- 2 子どもたちがやってみる
- 3 正しいことを教える
- 4 どんな小さなことでも褒める
- 5 出来る体験を増やしていく
- 6 子どもたちに自信とやる気を与える

### なぜ？を常に考える

さまざまな問題があります。大きなことは誰でも気付くでしょう。けど些細なことは？常に子どもたちの変化を感じ取り、察すること。小さなことを気付けば、大きな問題にならずにすむ。スタッフ間で小さな気付きを話し合い、なぜ？と考える。

### 本気で褒めて、本気で叱る。

子どもたちにとって、わたしたち指導員は大きな存在です。わたしたちは今後の子どもたちが正しい心を持って生きて行ってほしいから、褒めるときも、叱るときも、本気です。本気で伝えないと、子どもには響きません。



### 家族支援

家族の体調について情報を得ることで、利用者への体調管理へ繋がります。  
保護者様とコミュニケーションを重ね、家族を含め一貫した支援体制を構築します。  
また保護者様の悩みを聞く相手となり、保護者様の精神的な負担の軽減を図ります。



### 移行支援

適齢期に差し掛かった利用者様に、就労に向けた取り組みや就労支援事業所への  
定期的な体験を図り、卒業後にに向けた支援を実施します。



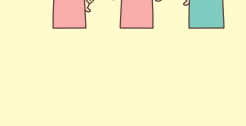
### 地域支援

地域での催しに参加することや、ごみ拾いなどの行事に参加し、地域社会との  
繋がりを構築します。



### 地域連携

相談支援事業所や発達支援室等の機関とは日頃から連携を取り、関係性を  
構築しています。



### 職員の質 の向上

事業内・事業所外研修を行い、支援の向上に努める。研修費用を会社負担にする  
ことや、OJT\* の制度を活用し、研修に取り組みやすい職場環境を構築する。  
\* 実際の仕事を通じて指導し、知識や技術を身に付けさせる教育方法